



発行
秦野市
農業協同組合
 (神奈川県)
 〒257-0015
 秦野市平沢477
 電話 0463(81)7711(代)
 発行責任者 小島 敏雄
 印刷所 (株)JA情報サービス

今月の特集
 4~5面

子どもたちに体験いろいろ
 JAはだのは、子どもたちに食と農の大切さを学んでもらう活動に取り組んでいる。農園用の資材提供やちやくりんすクールなど体験の機会を用意する。

ヤマビルに注意を
 6~9月は特に活発

市内で、ヤマビルによる吸血被害が増えています。6~9月は生息に最も適した気象条件になり、降雨中と降雨後は特に動きが活発です。被害を防ぐには、JAグリーンはだので販売している「ヤマビルファイター」などの忌避剤を靴や衣類に吹きかけます。吸血している場合は、塩やタバコの火で除去し、傷口から血を押し出すようにして、ヒルの分泌物を流し出してください。



北村部長が丹精して育てたバラ

父の日には秦野のバラを

父の日を前に、市内の農家がバラの生産に励んでいる。花き部会バラ部の北村睦部長は、白や赤、ピンクなどのバラ4品種を栽培。東京都の市場や、弘法の里湯の直売に出荷している。温室でのバラ栽培は、原油



価格高騰の影響が大きい。北村部長は「父の日には、秦野のバラを贈ってもらえたらうれしい。心を込めて育てた花を見て和んでもらえれば」と笑顔を見せた。

じばさんず出荷者52人を表彰

運営協力に感謝伝える



2020年度の受賞者ら



2021年度の受賞者ら

JAはだのは17日、本所ではじばさんずの出荷者を表彰した。新型コロナウイルス感染症の影響で「じばさんず元気いっば」を中止し、出荷者に感謝を伝えることが、店舗運営を支える一と、延期になっていた授

農家から栽培方法学ぶ
 北支所運営委が農業学習会



参加者に栽培方法を教える古谷さん

北支所運営委員会は4月23日、家庭での野菜栽培をテーマに農業学習会を開いた。参加者19人が、じばさんずの野菜苗などを出荷する菩提の古谷昇さんの圃場(ほじょう)を訪ねた。

学習会は、古谷さんが栽培品目などを説明し、

宮永均組合長は「丹精して生産した農作物を継続的に出荷いただき感謝している。地域農業の振興のため、引き続き活躍してもらいたい」と話した。

授与式は、2020年度と21年度の2部に分けて開催。直売所や地域農業のさらなる活性化に貢献した出荷者として、表彰要領に基づき、40人を表彰。野菜、果物、花卉(かき)などさまざまな分野の出荷者に記念品を贈った。

さらに、80歳以上の出荷者12人を特別表彰し、オリジナルデザインの帽子と湯呑みを贈呈。合わせて52人の出荷者を表彰した。

文中の表彰などの人名紹介の際の敬称は省略させていただきます。

J A 運営に反映し発展へ

2021年度事業特集号への意見・要望

今年度の「春の座談会」は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、前回と同様に開催方法を変更し、組合員の皆さまの意見・要望を、書面・FAX・メールで受け付けました。

3月26、27日の組合員訪問日で配布した「2021年度事業特集号」の事業報告や事業内容などについて、7人から25件の意見や要望が寄せられました。これらの意見・要望は担当部署で検討を重ね、さらに理事会で協議しました。ここに主なものを報告します。組合員の皆さまから寄せられた意見・要望を今後のJAはだの運営に反映させ、さらに発展させるように役立てていきます。なお、寄せられた意見や要望は紙面や表記の都合上、一部表現を変更しています。あらかじめご了承ください。

委託を維持し買い取り拡大

じばさんず関係

【意見・要望】自己改んずの取扱高維持では革工程表(数値編)の重く、向上(増加)の意気込点目標において、じばさんずを示してほしい。(西)

【回答・対応】



地産地消の拠点じばさんず

じばさんずの取扱高維持とは、高齢化・後継者不足などによる出荷者および出荷量が減少基調にある中で、委託取扱高の現状維持を主眼としています。店頭販売の軸である委託販売取扱高の維持を目指します。その上で、生産者からの買い取り販売や産地間提携先などからの買い取り仕入れを拡大し、店舗のみならず主要取引先などへの直接販売を行い、じばさんず全体として取扱高を増やしていく計画としています。

J A はだの自己改革工程表(数値編)

農業者の所得増大・農業生産の拡大

| 重点目標 | 対象者 | 想定 | 成果指標・目標値 | 2022年度目標 | 2023年度目標 | 2024年度目標 |
|-------------------------------|-----------------|---------|----------|----------|----------|----------|
| はだのじばさんずの取扱高維持(受託取扱高・累計) | 直売所出荷者 | 売上増加効果 | 2024年度 | 7億円 | 7億円 | 7億円 |
| 生産者買取の拡大(生産者買取販売高) | 中核的担い手や多様な担い手など | 売上増加効果 | 2024年度 | 3,600万円 | 4,100万円 | 4,600万円 |
| 仕入れ強化による生産資材の価格低減(価格低減品目数・累計) | 必要とする全ての者 | コスト低減効果 | 2024年度 | 5品目 | 7品目 | 10品目 |

地域の活性化

| 重点目標 | 2024年度 | 成果指標・目標値 | 2022年度目標 | 2023年度目標 | 2024年度目標 |
|----------------------|---------|----------|----------|----------|----------|
| ふるさとの味伝承活動の展開(回数・人数) | 5回(50人) | | 3回(30人) | 4回(40人) | 5回(50人) |
| フードライブ活動の実施(回数・拠点数) | 3回(8カ所) | | 2回(7カ所) | 2回(8カ所) | 3回(8カ所) |

経営基盤の確立・強化

| 重点目標 | 2024年度 | 成果指標・目標値 | 2022年度目標 | 2023年度目標 | 2024年度目標 |
|-----------|--------------------------|----------|----------|----------|----------|
| 金融店舗の業務集約 | 機能別店舗類型に基づいた金融・共済事業の機能再編 | | 第1次再編 | 検討 | 第2次再編 |
| 管理費用の抑制 | 業務効率化による管理費抑制 | | 検討 | 前年比1% | 前年比1% |

対話・意思反映

| 項目 | 2021年度計画 | 2021年度実績 | 2022年度計画 |
|------------------|----------------|--------------------------------|----------------|
| 組合員訪問日(回数・訪問世帯数) | 12回・12,000世帯/回 | 12回・12,000世帯/回 ポスト投函での対応月あり | 12回・11,000世帯/回 |
| 春・秋の座談会(回数・出席人数) | 2回・1,000人/回 | 書面とメールで受付(2回) | 2回・1,000人/回 |
| 支所運営委員会(回数) | 49回 ※イベントの企画回数 | 13回 | 14回 |

2021年度剰余金処分

| 科目 | 金額 |
|-------------|-------------|
| 1. 当期末処分剰余金 | 14億3114万4千円 |
| 2. 剰余金処分類 | 4億6631万5千円 |
| (1) 任意積立金 | 3億5千万円 |
| 事業基盤強化積立金 | 2億円 |
| 60周年記念事業積立金 | 1億5千万円 |
| (2) 出資配当金 | 3380万4千円 |
| (3) 事業分量配当金 | 8251万1千円 |
| 3. 次期繰越剰余金 | 9億6482万8千円 |

(注)1. 出資配当は年2.0%の割合です。
2. 事業の利用分量に対する配当金の基準は、定期貯金・定期積金の年間平均残高10万円以上に対して、1万円につき10%の割合です。
3. 千円未満は切り捨てています。

【意見・要望】剰余金処分の中で60周年記念事業積立金として1億5千万円が予定されている。

剰余金関係

太陽光発電設備の設置検討

【回答・対応】組合員への利益還元と、持続可能な開発目標(SDGs)を定めているのか。(西)

配当率は全国平均を参考に

出資配当関係

【意見・要望】出資配当が2%の根拠は、配当性向でも7%、一般企業では20~30%が目途だと思ふ。(上)

【回答・対応】JAの出資配当は、一般事業会社の株主配当とは異なり、利息見合いと解釈され、金利情勢に見合った配当率が求められて



利用者に分かりやすく表示した購買品棚

購買関係

POPで分かりやすくPR

【意見・要望】JAはだの取り扱う生産資材について、価格だけでは

なく「環境に優しい」「二酸化炭素削減商品」「耐久性に優れた」などの特徴を商品棚へ表示しPRしたり、生産組合取りまとめ回覧にもカラーチラシを添付し、利用者に分

【回答・対応】JAがPOPはだので店内広告(POP)を作成するとともに、生産組合取りまとめ回覧にもカラーチラシを添付し、利用者に分

【意見・要望】通帳コピー入力サービスは、自分にとって必要不可欠

貯金関係

窓口待ち時間短縮にご理解を

【意見・要望】通帳コピー入力サービスは、自分にとって必要不可欠

【回答・対応】これまで利用者からの依頼に基

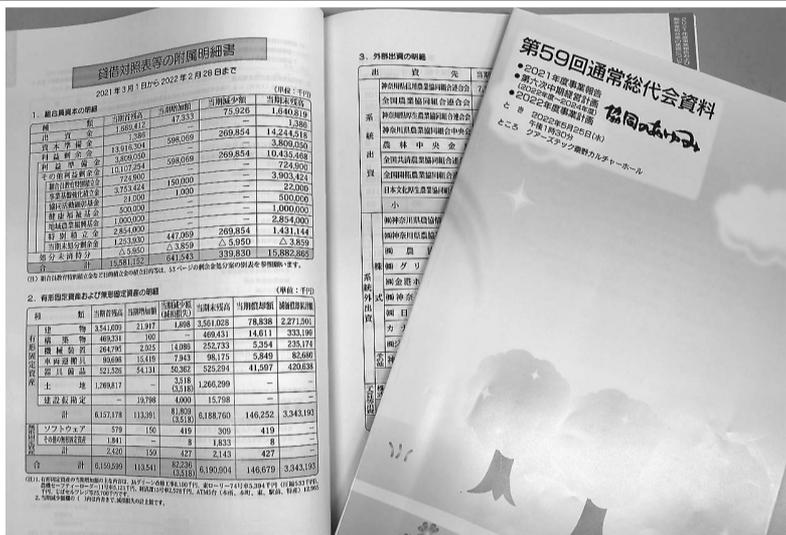
【回答・対応】ATMでの硬貨取り扱いは、異物の混入や大量の硬貨入金による故障が多発する

附属明細書は総代会資料に

事業報告関係

【意見・要望】会社法では事業報告書が義務付けられていると思う。事業特集号には簡易のB/S、P/Lと剰余金処分(案)はあるが、附属明細書が見当たらない。JAは適用外なのか。(上)

【回答・対応】JAも農協法上で行政への業務報告が定められています。組合員には総代会資料で事業報告をしていて、それには附属明細書や事業別の明細、監査報告など決算に関する内容



総代会資料に記載している附属明細書

具体的な内容は中期計画に

アクティブメンバーシップ関係

【意見・要望】自己改革工程表に「自己改革の実践に向けた組合員の意識反映」というフレーズ

【回答・対応】自己改



本所農業団地センター3階の図書室

図書室関係

案内板の掲示確認しご利用を

【意見・要望】本所農業団地センター図書室の一部の本棚の使用法に

【回答・対応】現在、月刊誌などの新刊は、図書室入口の棚に配置し紹介しています。各書物のバックナンバーは冊数が多

【回答・対応】現在、月刊誌などの新刊は、図書室入口の棚に配置し紹介しています。各書物のバックナンバーは冊数が多

の判断材料になると思う。なお、お薦めする購買

品については、さらに利

なるような工夫に努めて

平日に窓口で手続きして

鮮やかカーネ贈って 母の日に



8日の「母の日」を前に、秦野産のカーネーションが消費者から人気を集めた。花き部会カーネーション部の部長は、良質な花を消費者に届けようと連日出荷作業に励んだ。

6月末までに約3万本を出荷する見込みだ。妻の真弓さんと一緒に栽培に励む、贈り物にぴったりのアレンジメントを一つ一つ作り、同店に出荷した。



JAはだの11日、市立鶴巻小学校の4年生約130人を対象に、野菜苗の植え付けを指導した。小島孝支所長が、ポットからの取り出し方や鉢に入れる土の量などを説明。園児は、ピーマンやキウリなど、事前に希望した苗を手取り、自分の鉢に丁寧に植え付けた。

同委員会は、地域の子どもたちの農業体験を充実させようと、毎年ジャガイモや夏野菜の栽培体験に協業を開いた。青パパイアの関心の高さを認め、吉村「パッショ」委員が小まめに生育チェックし、管理を手伝った。

JAはだの11日、市立鶴巻小学校の4年生約130人を対象に、野菜苗の植え付けを指導した。小島孝支所長が、ポットからの取り出し方や鉢に入れる土の量などを説明。園児は、ピーマンやキウリなど、事前に希望した苗を手取り、自分の鉢に丁寧に植え付けた。

JAはだの11日、市立鶴巻小学校の4年生約130人を対象に、野菜苗の植え付けを指導した。小島孝支所長が、ポットからの取り出し方や鉢に入れる土の量などを説明。園児は、ピーマンやキウリなど、事前に希望した苗を手取り、自分の鉢に丁寧に植え付けた。

JAはだの11日、市立鶴巻小学校の4年生約130人を対象に、野菜苗の植え付けを指導した。小島孝支所長が、ポットからの取り出し方や鉢に入れる土の量などを説明。園児は、ピーマンやキウリなど、事前に希望した苗を手取り、自分の鉢に丁寧に植え付けた。

学校農園に資材を提供

野菜苗や肥料なども幅広く幼稚園にも



JA職員から苗を買い求める園児

JAはだの11日、市内の小・中学校のうち学校農園を設置する19校に、各校1万5000円分の資材を提供している。各校は、ミニトマト、キウリなどの野菜苗やジャガイモの種芋、肥料などから希望する資材を選択。市教育委員会が注文を取りまとめ、教育機関とJAが一体となって、食農教育を充実させる仕組みを構築している。

食農教育

体験いろいろ子どもたち

野菜を植え付け

上支所運営 委が協力



JAはだの11日、市内の小・中学校のうち学校農園を設置する19校に、各校1万5000円分の資材を提供している。各校は、ミニトマト、キウリなどの野菜苗やジャガイモの種芋、肥料などから希望する資材を選択。市教育委員会が注文を取りまとめ、教育機関とJAが一体となって、食農教育を充実させる仕組みを構築している。

JAはだの11日、市内の小・中学校のうち学校農園を設置する19校に、各校1万5000円分の資材を提供している。各校は、ミニトマト、キウリなどの野菜苗やジャガイモの種芋、肥料などから希望する資材を選択。市教育委員会が注文を取りまとめ、教育機関とJAが一体となって、食農教育を充実させる仕組みを構築している。

JAはだの11日、市内の小・中学校のうち学校農園を設置する19校に、各校1万5000円分の資材を提供している。各校は、ミニトマト、キウリなどの野菜苗やジャガイモの種芋、肥料などから希望する資材を選択。市教育委員会が注文を取りまとめ、教育機関とJAが一体となって、食農教育を充実させる仕組みを構築している。

JAはだの11日、市内の小・中学校のうち学校農園を設置する19校に、各校1万5000円分の資材を提供している。各校は、ミニトマト、キウリなどの野菜苗やジャガイモの種芋、肥料などから希望する資材を選択。市教育委員会が注文を取りまとめ、教育機関とJAが一体となって、食農教育を充実させる仕組みを構築している。

JAはだの11日、市内の小・中学校のうち学校農園を設置する19校に、各校1万5000円分の資材を提供している。各校は、ミニトマト、キウリなどの野菜苗やジャガイモの種芋、肥料などから希望する資材を選択。市教育委員会が注文を取りまとめ、教育機関とJAが一体となって、食農教育を充実させる仕組みを構築している。

JAはだの11日、市内の小・中学校のうち学校農園を設置する19校に、各校1万5000円分の資材を提供している。各校は、ミニトマト、キウリなどの野菜苗やジャガイモの種芋、肥料などから希望する資材を選択。市教育委員会が注文を取りまとめ、教育機関とJAが一体となって、食農教育を充実させる仕組みを構築している。

JAはだの11日、市内の小・中学校のうち学校農園を設置する19校に、各校1万5000円分の資材を提供している。各校は、ミニトマト、キウリなどの野菜苗やジャガイモの種芋、肥料などから希望する資材を選択。市教育委員会が注文を取りまとめ、教育機関とJAが一体となって、食農教育を充実させる仕組みを構築している。

被害減へ呼びかけ

はだの都市農業支援センターは10、11、13、16、18日の5日間、市内に設置場所や開口部のメンテナンスしている捕獲おりの現地視察会を開いた。おりを管理する農家や果の職員の足跡もチェック。より効果の高い餌の種類を検討する。効果の高い餌の種類を検討する。効果の高い餌の種類を検討する。

部員一丸で梨栽培

果樹部会梨部は、部員一丸で梨栽培に取り組んでいる。部員一丸で梨栽培に取り組んでいる。部員一丸で梨栽培に取り組んでいる。部員一丸で梨栽培に取り組んでいる。部員一丸で梨栽培に取り組んでいる。部員一丸で梨栽培に取り組んでいる。

野菜苗ください

買ってみて関心高める

JAはだの11日、市立鶴巻小学校の4年生約130人を対象に、野菜苗の植え付けを指導した。小島孝支所長が、ポットからの取り出し方や鉢に入れる土の量などを説明。園児は、ピーマンやキウリなど、事前に希望した苗を手取り、自分の鉢に丁寧に植え付けた。

作って見て学ぼう

ちやぐりんスクール開校

JAはだの7日、本所（一社）家の光協会発行の月刊誌「ちやぐりん」を活用して、市内の小・中学校で「ちやぐりん」を開校した。市内の小・中学校で「ちやぐりん」を開校した。市内の小・中学校で「ちやぐりん」を開校した。

デラ園巡回

シベ処理の適期見極め

果樹部会シベ部は、2月27日、部員の園を巡回し、小粒種のブドウ「デラウェア」のシベ処理の適期を見極め、部員同士で知識を出し合っている。消費者に喜んでいただけるようなおいしいブドウを生産していきたいと話した。



講師から作り方を教わる児童

自家用でも引き受け

茶の生葉加工します

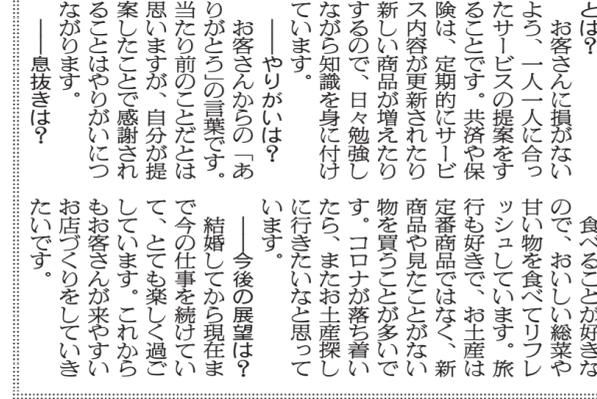


刈り取った茶を搬入する組合員

JAはだの7日、上の生葉を53・2の荒茶加工場などで組合員が持ち寄った茶の加工を受け、組合員が自家用として茶の木を植え、加工作業を担っている。JAはだの7日、上の生葉を53・2の荒茶加工場などで組合員が持ち寄った茶の加工を受け、組合員が自家用として茶の木を植え、加工作業を担っている。

発見 頑張り屋

戸川の南村上モーターに勤務する村上美さん。川崎市で幼少期を過ごし、高校卒業後はラジオ機器製作会社や航空機の部品設計に関わる会社に勤めてきた。24歳で結婚を機に秦野市に引っ越し、夫が経営する同店を支える。日々勉強し知識豊富に



夫が経営する同店を支える村上美さん(72)

JAはだの7日、上の生葉を53・2の荒茶加工場などで組合員が持ち寄った茶の加工を受け、組合員が自家用として茶の木を植え、加工作業を担っている。JAはだの7日、上の生葉を53・2の荒茶加工場などで組合員が持ち寄った茶の加工を受け、組合員が自家用として茶の木を植え、加工作業を担っている。

JAはだの7日、上の生葉を53・2の荒茶加工場などで組合員が持ち寄った茶の加工を受け、組合員が自家用として茶の木を植え、加工作業を担っている。JAはだの7日、上の生葉を53・2の荒茶加工場などで組合員が持ち寄った茶の加工を受け、組合員が自家用として茶の木を植え、加工作業を担っている。

JAはだの7日、上の生葉を53・2の荒茶加工場などで組合員が持ち寄った茶の加工を受け、組合員が自家用として茶の木を植え、加工作業を担っている。JAはだの7日、上の生葉を53・2の荒茶加工場などで組合員が持ち寄った茶の加工を受け、組合員が自家用として茶の木を植え、加工作業を担っている。

文芸の窓

〈俳句〉(酒井 敏光 選)
 寺社の屋根ゆつたり反りて夏に入る 柳川みち子(栄町)
 試飲茶の喉に甘さや新茶買ふ 佐藤英美子(南矢名)
 吊皮に春の眠さのぶら下がる 森高 由子(渋沢)
 就活の歩幅生き生き新樹光 高島美和子(名古屋)
 休日の夏日せわしき子の昼餉 吉田 清美(渋沢)
 杜若森閑なりし二尊院 菊池としえ(菩提)
 夕顔や声かけあふも老姉妹 志賀 明子(千村)
 知床の斑雪の海に沈む船 芦川 松江(八沢)
 古池や蛙の雨に杜若 石原 松枝(渋沢)
 杜若どこか懐かし古家の池 石田陽子(ひばりヶ丘)
 風青し握手はぐーとぐーあはす 高橋 順子(大秦町)
 緑ほのか白に溶け込む山法師 高橋 順子(大秦町) 選者

〈短歌〉(久保寺 富男 選)
 こもる日々を癒してくれたる花桃の 今井 かめ(羽根)
 いっしか青々と陽に輝きいる 家籠る無聊を慰めてく
 評 花の命は短い。家籠る無聊を慰めてく
 れた花桃が早くも若葉になったという
 のである。

疾く芽吹くカボチャの種よ戦時下の 八木 実(鶴巻北)
 救荒作物の面目躍如

電線にとまりて小さき四十雀 安居院輝雄(上大槻)
 朝のしじまに声張りてなく

リバイバル映画のキャスト今いかに 細田 富士(千村)
 ウィキペディアに消息を知る

喜寿を機に始めた短歌は 自己流なれば 水落美和江(鶴巻南)
 添削頼りに次作をめざす

若き日の我に母の縫いぐれし 石田(すゑ)(水神町)
 着物を子らはスカートにしよう

藪椿咲き盛れども目白来す 伊東 久(渋沢)
 来年こそはとひそか願いつ

かたくなに黙秘貫きしも交じり居て 選者
 四月尽日朝の味噌汁 ※選者による添削あり

今月の理事会

4月28日、5月20日に理事会を開催し、次のことを審議しました。

【4月理事会議案】
 ▼第59回通常総代会表彰・感謝状贈呈者の決定について
 ▼2021年度決算書類ならびに部門別損益計算書、事業別の明細の承認について
 ▼投資一任運用サービス開始に伴う各種規程等の改正について
 ▼株協同コンサルトはだの株主総会の招集および議案について
 ▼株協同コンサルトはだの決算および剰余金処分のについて
 【5月理事会議案】
 ▼2021年度決算監査意見書に対する顛末報告について
 ▼ヘルプライン運営要項の改正について

▽育児・介護休業等取扱規程の改正について
 ▼2021年度出資配当金・事業分量配当金の支払いについて
 ▼2021年度業務報告書および連結業務報告書について
 ▼2022年度春の座談会中止に伴う意見・要望の対応について
 ▼株式会社農協観光の旅行者代理業の廃止および地域限定旅行業の新規登録について

職員人事
 かつこ内は旧部署。
 ◎4月30日付退職 石河美穂(南支所) 室賀真実子(南支所)
 ◎5月1日付人事異動
 ◇南支所 小泉裕佳子(本町支所・育児休業復帰)

おめでどうございませう。末永くお元気で過ごしてください。

88歳(米寿)
 ▼南地区 井上新吉(今川町)
 ▼北地区 柏木武夫(戸川)

77歳(喜寿)
 ▼北地区 高橋弘子(菩提)
 ▼西地区 諸星敬明

税務相談日 6月10日(金) 午前9時30分～
 法務相談日 6月20日(月) 午後1時30分～
 場所 本町支所
 予約制です。事前にお電話にてご予約をお願いします。受け付け順に相談時間が決まります。ご予約は株協同コンサルトはだの ☎81-2329

JAグリーンは農家を応援します
 水稲用農薬の割引キャンペーンを実施します。期間中は特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。
 お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81-7719

JAグリーンはだのは6月4日(土)～12日(日)、水稲用農薬の割引キャンペーンを実施します。期間中は特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。
 お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81-7719

JAグリーンはだのは6月4日(土)～12日(日)、水稲用農薬の割引キャンペーンを実施します。期間中は特別価格で販売しますので、お得なこの機会にぜひご利用ください。
 お問い合わせはJAグリーンはだのまで。☎81-7719

◎神奈川県議会議員賞 加藤宗雅(平沢)
 飾らない。 坂井より子著
 76歳、坂井より子の今をたのしむ生き方

自然体な暮らしと素敵な笑顔で支持を集める著者が、いくつになっても前向きに暮らすための生き方を綴ったエッセイ。定価1540円(税込)

◎興花き立毛共進会 日頃の成果を發揮 受賞おめでとう!
 該当の方は誕生月の前月末までに各支所・支店にご連絡ください。

◎神奈川県知事賞・全農農業協同組合連合会神奈川県本部運営委員長賞 柳川賢治(平沢)

◎和田稔(柳川)バラの市場出荷と直売を両立させ、地元直売所の活性化にも尽力。花き部会の部長などを歴任し組織



大根支部 宿矢名二班 花木 陽子さん

秦野の農家飯

タケノコの春巻き

本町支部 小島 洋子さん

■材料(10個分)■
 春巻きの皮10枚、タケノコ水煮120g、鶏ひき肉180g、大葉10枚、サラダ油適量、A(酒大さじ1、おろしショウガ小さじ1、オイスターソース小さじ2)、B(小麦粉大さじ1/2、水大さじ1/2)

＜作り方＞
 ①タケノコは5cm程度の角切りにする。
 ②ボウルに鶏ひき肉とAを入れてよく混ぜる。
 ①を加えてさらに混ぜ、10等分にする。
 ③別の器でBを混ぜ合わせる。
 ④春巻きの皮の上に大葉と②の1個分を乗せて巻く。巻き終わりには③を付けてとめる。残りも同様に巻く。
 ⑤フライパンにサラダ油を入れて熱し、④を入れて両面がきつね色になるまで5～7分揚げる。

＜ひとことアドバイス＞
 5月5日のこどもの日にちなみ、春巻きの皮で兜を折り、中に具を詰めました。折った部分を水溶き片栗粉でとめると、揚げても崩れません。

「米1合を届けたい」活動を始めました。大根支部の新たな活動のお知らせです。私たち大根支部では、市内の生活困窮者支援として、米1合を持ち寄る活動を始めました。市内でも、新型コロナウイルス感染症の影響で仕事を失い、お子さんを抱え、食事も満足に取れないという方々が、コロナ禍前に比べると9倍近く増加しています。

支部会で「困っている方々への支援を始めたい」という声が上がりました。そこで、一番要望が多かった米の寄付を部員の皆さんにお願いしたところ、快諾していただきました。支部会の開催時に米1合を持ち寄り、集まった米は市内で生活困窮者支援に取り組み方に託すことになりました。

他支部の皆さんも、ぜひこの活動にご賛同いただけることを願っています。

24時間受付OK! 下記のローンをインターネットでかんたん事前審査申し込み!!

*正式審査のお申込みは、JA窓口でお手続きが必要です。

マイカーローン 教育ローン リフォームローン

1 JAはだのホームページにアクセス
 2 サイト内の下記バナーをクリック
 3 必要事項をご入力 事前審査結果はEメールにてご連絡いたします。

QRコード読み取り可能な端末はこちら

JAはだの 検索 Q

PC・スマートフォンでご利用可能

ご来場の方に記念品を進呈

休日ローン相談会

6月11日(土)

午前9時～午後4時 本所農業団地センター

住宅の新築・リフォーム、住宅ローンのお借り換えやお車のご購入、お子さまの教育資金など、各種ローンのご相談を無料で承っております。どなたでもお気軽にご相談ください。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、事前予約をお願いいたします

融資課 ☎0120-954-093 ホームページ「休日ローン相談会」から予約可能!

またはお近くの支所・支店までお問い合わせください。 JAはだの 検索

※感染症などの状況により、中止になる可能性があります。開催状況はJAはだのホームページをご確認ください。

協同組合講座がスタート

農業や地域を幅広く学習

主体的に活動する組合員に

J A はだの11日、本所で2022年度協同組合講座の開講式を開いた。J A への理解を深める他、農業や地域などについて幅広く学んでもらおうと実施しているもの。受講者37人が出席し、本年度のカリキュラムがスタートした。

同講座は①准組合員などの基礎的な内容を学ぶが、協同組合やJ A 事業ぶ「組合員基礎講座」②組合員が、農業や生活な



あいさつする宮永組合長

組合員が、農業や生活など幅広いテーマで学ぶ「組合員講座」③組合員講座修了者が、2年にわたり協同組合や農業についてさらに深く学ぶ「専修講座」——の3コースで構成。今年度は、みどりの食料システム戦略や持続可能な開発目標(SDGs)に関する講義の他、スマホ教室など多様なカリキュラムを用意している。

開講式では、J A が取り組む組合員教育事業について紹介。協同組合講座、国外視察研修、国内視察研修、文化講演会の四つの柱で成り立っていることを説明した。その後、協同組合や食料自給

率、准組合員など五つのテーマを解説した動画を上映。地域のリーダーとして活躍してもらうための基礎知識を伝えた。



落花生の種をまくオーナー家族

目指してほしい。受講者「この機会に活躍を期待した。」とエールを送った。

落花生やサツマイモオーナーが植え付け

パル生協も募集に協力

はだの都市農業支援センターは15日、堀山下の畑で落花生とサツマイモの植え付け体験を開いた。観光農業の振興を目的とした「農園オーナー」の取り組み。市内外から訪れた40組約120人のオーナー家族らが参加した。

今回は、J A はだの事業連携協定を結ぶ生活協同組合パルシステム神奈川が初めて参加。農業の楽しさや収穫の喜びを多くの人に知ってもらおうと、生協組合員に開催を案内した。



落花生の種をまくオーナー家族



新タマネギを収穫する参加者

気軽に農業体験 新タマネギ収穫

家族連れに人気

はだの都市農業支援センターは4月23日、東田原の畑で新タマネギの収穫体験を開いた。気軽に農作業を体験してもらおうと企画しているもの。市内外から13組36人が参加し、新タマネギ七宝を収穫した。

体験は地元農家の大津俊彦さんが協力し、苗の植え付けや栽培管理を進めてきた。参加者は大津さんに収穫方法を習いな

がら株を引き抜き、新タマネギを収穫。保存方法やお薦めの食べ方などを聞いた他、周辺での鳥獣被害について質問した。大津さんは「土に触れることが減ってきていると思うので、多くの家族連れに参加してもらえて良かった。農業の素晴らしさや取れたての野菜のおいしさを知ってもらう機会になれば」と笑顔で話した。

接近! おじゃまです

柳川で生まれ育った熊澤定雄さん。証券会社に29年間勤務し、日本庭園が好きだったことから、訓練校で植木などの知識を身に付け、小田原市の造園会社に転職した。67歳で退職した後は、おいが経営する植木屋を手伝いながら、自家用野菜を栽培している。

現在は、11坪の畑でトマトやピーマンなど年間45品目以上を栽培。少量多品目で、自身が食べたい野菜や、親戚や知人に渡して喜ばれる野菜を中心に作っている。得意な野菜は、手塩にかけて育てた野菜を収穫する時の達成感が、やりがいになっている。

趣味は、花を育てること。花も種からじつこどわりと育てることが好き。庭に数多くの種類の花を植えている。花を見るために旅行することも楽しみ。全国の桜の名所はほとんど制覇している。

熊澤さんは、地域の子どもたちのためにも力を尽くしている。上小学校の児童を地域ぐるみでサポートする「上自由学校」に所属。20年ほど続く6年生の富士登山の行事は、開始当初から引率を務めている。コロナ禍前には、どんど焼きやひな祭りなどの行事も手伝い、子どもたちに地域の伝統を伝えてきた。

熊澤さんは「これからも地域のため、子どもたちのために貢献していきたい。積み上げてきたものを若い世代に引き継いでいければ」と笑顔を見せた。



柳川の熊澤定雄さん(70)

手塩にかけ種から育てる

熊澤さんは、地域の子どもたちのためにも力を尽くしている。上小学校の児童を地域ぐるみでサポートする「上自由学校」に所属。20年ほど続く6年生の富士登山の行事は、開始当初から引率を務めている。コロナ禍前には、どんど焼きやひな祭りなどの行事も手伝い、子どもたちに地域の伝統を伝えてきた。

熊澤さんは「これからも地域のため、子どもたちのために貢献していきたい。積み上げてきたものを若い世代に引き継いでいければ」と笑顔を見せた。

やえのちゃんびーなマンの「JAってなに??」

今回は秦野市の葉タバコの歴史について教えて。いいわよ。市内で栽培が始まったきっかけは、1707年に起きた富士山の大噴火よ。他の作物の栽培が困難な状況になった中で、火山灰が混じった土壌が葉タバコ耕作に適していることを発見したの。この時期から葉タバコ耕作は急激に増加していったわ。技術革新によ

て品質も向上して、当時は国内だけでなくロンドンまで輸出されていたのよ。急速な都市化の進展によって1984年を最後に姿を消してしまっただけ、葉タバコは産業の中心として秦野市を支えてきたの。

そうだったんだね。秦野市の農業の歴史は葉タバコなしに語ることはできないね。教えてくれてありがとう、やえのちゃん!

